へ13
3801

青砥演劇譚初編
一陽齋豐國画
孟春新刻
下八卷
菊幸版
數雀庵斗文著
上
末

門へ13
號3801
卷

繪と善する者ハ文事少なし。文字ありて傍画と兼る者もまれ稀なり。近く其二ツを全うするハ山東京傳なり。画名を政演と呼ぶ。もし其技神に入ると不能と知りて画を捨て編述を業とし稗史と編名一時に高く。戯作家の巨擘と謂つべし。友人斗文書画を好み其境に入らんと欲し。近来吾黨に加りて作者となれり。就中書画の脚色ハ左文と共に當り世取れり。書肆編を嗣ぐに刻ぜんを乞ふ。原来演劇と稗史とハ大に同じく小に異なり。さるまでに其分級序者の誦するの差別あるべし。其の理如序者の知る所

弘化四丁未春　花笠文京

赤根半七
芸者節婦
後の白柏子
笠屋三勝
男舞に扮する図

左工門尉
青砥藤綱

江戸二大川村の貝屋吉右衛門
叔父馬二従弟昌九郎ガ為に
無失の罪に得て小野の十次郎
性命危きを藤綱順慶
罪科の黒白を糺し善吉
必死と遁るゆ三編ゆ委
しく説

みぐくあとの
月ゆ留
猫園
半ゼ
梅屋

青砥家臣
横山子七郎

貞婦
阿六

の油
冒薬
本家 熊の胃三郎
定見世

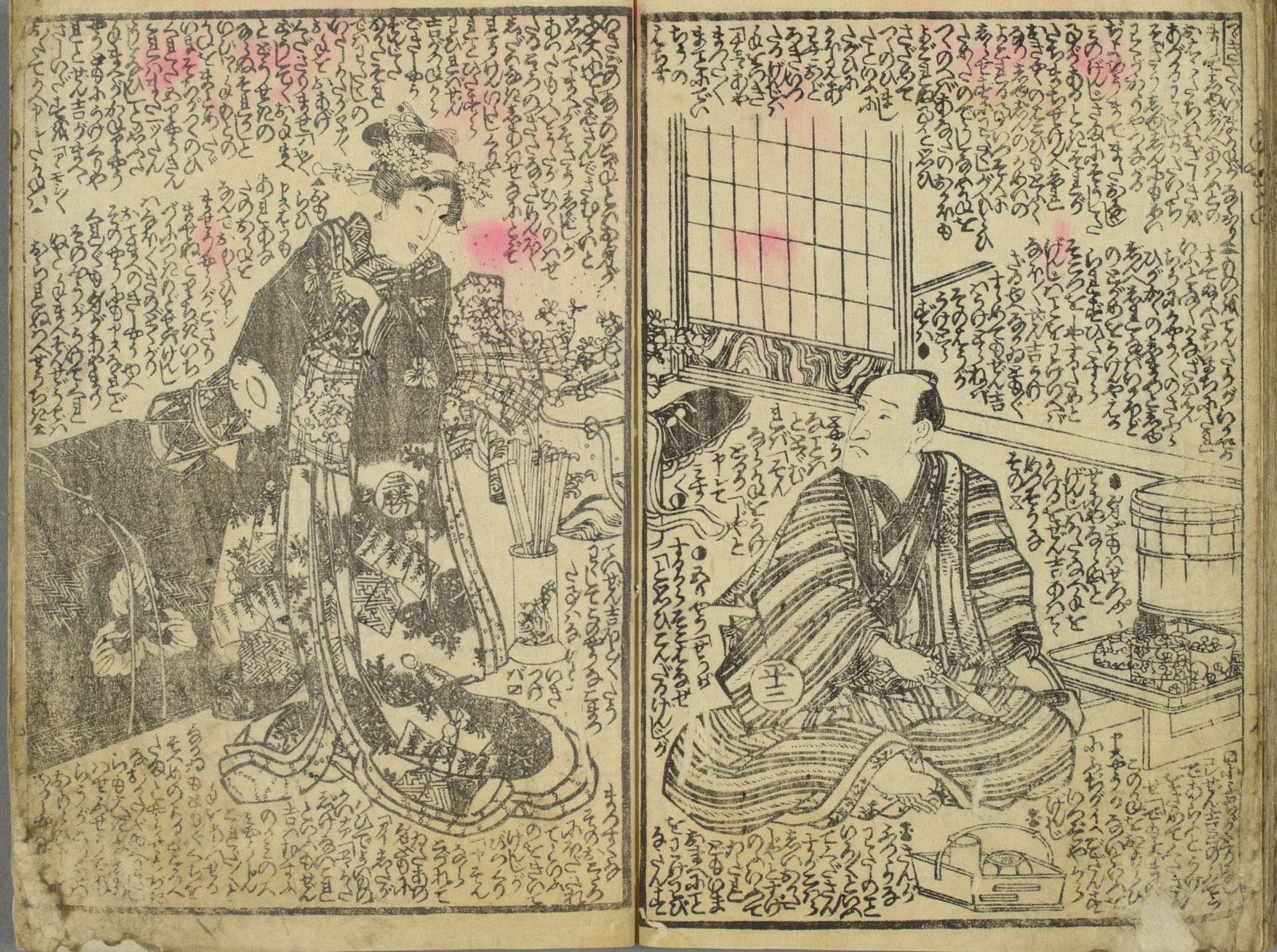
藪雀庵斗文著

三七孝貞 六義復讎 勸善青砥劇譚

弘化 丁未 下乃末

一陽齋豊國画

江幸堂藏



長
全
平

○東都書林馬喰町二丁目菊屋幸三郎藏板

天神七代記　夢占延壽袋

地神五代記　同繪本　出来

三國妖婦傳　五柳亭徳升作　歌川國安画

白鼠忠義物語　曲亭馬琴作　歌川貞重画

蜀山翁めぐり百首　觀世音利生

青砥ものがたり

[illegible]